

わか草

第29回 平成26年1月1日
発行 東京都立東部療育センター
広報委員会
東京都江東区新砂3-3-25



「わか草」への想い
院長 有馬 正高

東部療育センターが公式に開設されたのは平成十七年十二月一日と定められています。
この日は、外来の受付と診療が始まり、第一次の病棟開設として三階南と三階西病棟に長期入所の人達の受け入れを開始しました。
病棟で受け入れた人達は、都の募集に応じて半年前に申し込み、事前に東部の職員も訪問し面接したことがある人達でした。しかし、インフルエンザの流行する冬季の入所であり、普段の生活の様子もお互いに未知の関係者であることから、極度の緊張感を持って年末年始を過ごしたように想います。
超重症児を受ける新しい施設という役割を担っていたので、募集してから半年間に受け入れを予定されていた子供の20%が自宅や入院先の病院で死亡し、補欠の繰り上げが重なりました。平成十八年四月から、第二次の開設の仕事として、二階南、西の両病棟への受け入れと、バス送迎による成人通所、外来診療科の拡充、墨東養護学校の訪

問授業の開始などが続きました。さらに、季節毎のお楽しみ行事、プール開きなども始まりました。
わか草が出版されたのは創刊第一号が、センター開設後一年目の平成十八年十二月一日です。今回の第二十九号は、創刊満七年の記念号と言ってよいでしょう。それを配慮して、今回の二十九号には、最近の診療情報の年次経過も掲載されています。外来受付の開設以来、平成二十五年十二月末までの利用者のコードは四七〇〇を超え、遠からず五千人を超えることでしょう。
「わか草」の各号には、創刊以来「東部あれこれ」として各部署の行事や対外的なニュースなどがユーモアたっぷりに紹介されてきました。これは普段なかなか顔を合わせられない人達が、知識と技能をもってそれぞれの部署で利用者の生活や運営を支えている協力者であることを示すメディアとして大きな意義をもつと考えます。

クリスマス会

十二月十二日、十三日に行われた各病棟ならびに通所のクリスマス会を紹介します。

三階西

事務長にも参加していただき、幻想的な雰囲気でのシャンパンタワーは歓声があがりました。今年から三西の仲間になった職員のダンスや手品、職員配楽隊による歌とトーンチャイム、そしてメインは利用者様全員でサンタさんを助け出す劇で、



サンタの衣装でメリークリスマス!

みんなで力を合わせて盛り上がりました。流行語大賞に選ばれたあの有名な言葉などもふんだんに取り入れ、笑顔の多いクリスマス会となりました。

各病棟・通所に配られた栄養科の皆さんによる手作りケーキ

みんな笑顔でおいしく頂きました。「ごちそうさまでした」



通所

十二月十三日(金)に通所利用者様全員参加のクリスマス会が開催されました。オーブニングは点灯式!少しづつ通所がライトアップされ全ての電飾が付くと「あーっ!」という歓喜の声が聞こえ、幻想的な空間に包まれました。



三階南

司会の「クリスマス会(いっやあ?)」「今でしょ」に始まり、点灯式では病棟全体+司会も全身電飾のイルミネーション。「あまちゃん」の曲でのスライドでは、当日参加できなかった職員による「あ・も・て・な・し」で始まり、利用者全

保護者の方からは利用者様には「愛情」を、スタッフには「おもてなしの心」がいったい詰まった歌のプレゼント。
またプレゼント交換では当たりくじが付いている職員からのハンドベルや歌のプレゼントがあり、皆さんうっとりしていました。



通所保護者による合唱! 中央にはサンタとトナカイ!?



午後からは利用者様二名によるクリスマスソングイタルが開催されるなど、通所が一つになった素晴らしいクリスマス会になりました。

バンドで盛り上げる会場 みんなソリソリ



員出演の「フォーチュンクッキー」のダンス。そして、曲に合わせて舞台上に登場したのは、看護師長センターによるダンス。最後はサンタママからのサプライズプレゼント。1年間我慢した分、楽しさ「倍返し!」の三階病棟は笑顔いっぱいでした。

今回紹介できなかった

一階西・南病棟の「コマ

二階西

職員による本格的なバレエ 白鳥の湖!



二階南

職員と一緒にコスプレ!撮影!



東部療育センター 満八歳を迎える



開設一周年記念パーティにて
＜平成18年12月＞

東部療育センターは昨年（平成二十五年）十二月一日で満八歳を迎えました。当センターは、重症心身障害児（者）のなかでも特に濃厚な医療ケアを必要とする人達を積極的に受け入れてほしいという社会的要請に答え、平成十七年十二月一日に開設しました。開設にあたって東京都からは、「超（準超）重症児を五十%以上受け入れる」という使命を与えられていましたが、開設一年目には早くも、長期入所、短期入所、通所のいずれも半数を超える割合の超（準超）重症児の受け入れを達成しました。

そして平成二十四年度実績においては、在籍者のうち超（準超）重症児の割合が、長期入所で六〇%、短期入所で八四%、病棟全体の利用実績では七〇%を超えています。また通所でも、成人、乳幼児を合わせて七五%近い超（準超）重症児の方が利用されています。さらに、呼吸管理が必要な方も増えてきており、病棟では平均して二七〜二八台、多いときには三〇台を超える人工呼吸器を使用しています。

開設当初には、重症児の高い死亡リスクや心身機能の激変、感染症の拡大などを危惧していました。利用者の健康を守ることに全職員が努力し、これまでほぼ理想に近い医療の実績を重ねています。また、生活面においても、日々の生活の潤いや季節を感ぜられるように、ボランティアの方々との協力も得ながら全員で取り組んでいます。



五周年記念式典にて
＜平成22年12月＞

こうした八年間の実績を積み上げて来られたのは、利用者の親御さんや後見人の方々のご理解を得ながら、センターの全職員、委託業務の職員、かもめ分教室の先生方、ボランティアの方々それぞれ役割をしっかりと果たしながら一丸となって取り組んできた成果だと思えます。また、外部委員の先生方や他の医療機関、その他の関係機関の支援も多くいただきました。この八年間の利用者数の実績を、開設一年目の平成十八年度、五年目の平成二十二年、そして昨年（平成二十四）度の三カ年を一覧にしたものを裏面に掲載しましたので、ご参照下さい。

東部療育センターでは、これからも皆様のご期待にそえるよう一致団結して努力してまいります。



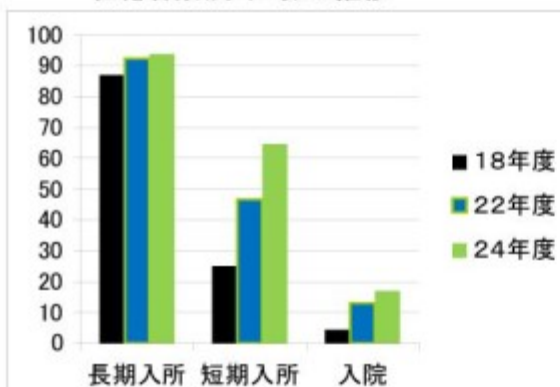
花見散歩（砂町水再生センター内にて）
＜平成25年3月＞

東部療育センターの主な事業実績の推移

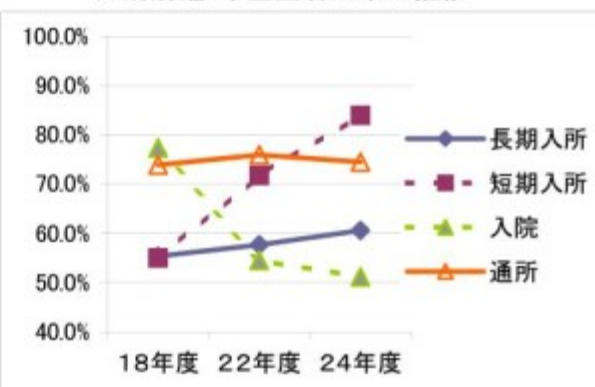
年度	○ 入所在籍者数			○ 入所利用者数（一日平均）				○ 通所利用者数		
	長期	短期	入院	長期	短期	入院	計	成人（登録）	乳幼児	計
18年度	1045	300	53	85.2	5.7	1.9	92.8	23	—	23
	(月平均)	87	25	4.4	(病床利用率)			77.3%	(一日平均)	13.1
	超重症	277	42	17	(超・準比率)			73.9%	—	73.9%
	(月平均)	23	3.5	1.4						
	準超重症	302	123	24						
	(月平均)	25.1	10.25	2						
	超・準比率	55.4%	55.0%	77.4%						
22年度	1108	560	156	91.7	11.5	3.0	106.2	35	15	50
	(月平均)	92.3	46.7	13	(病床利用率)			88.5%	(一日平均)	24.7
	超重症	303	143	34	(超・準比率)			68.6%	93.3%	76.0%
	(月平均)	25.3	11	2.8						
	準超重症	336	259	51						
	(月平均)	28	21.6	4.3						
	超・準比率	57.7%	71.8%	54.5%						
24年度	1126	776	205	93.2	14.0	4.1	111.3	35	15	50
	(月平均)	93.8	64.6	17	(病床利用率)			92.7%	(一日平均)	24.7
	超重症	298	283	38	(超・準比率)			73.5%	76.9%	74.5%
	(月平均)	24.8	23.5	3.1						
	準超重症	384	369	67						
	(月平均)	32	30.7	5.5						
	超・準比率	60.6%	84.0%	51.2%						

(注) 19年度より歯科入院開始

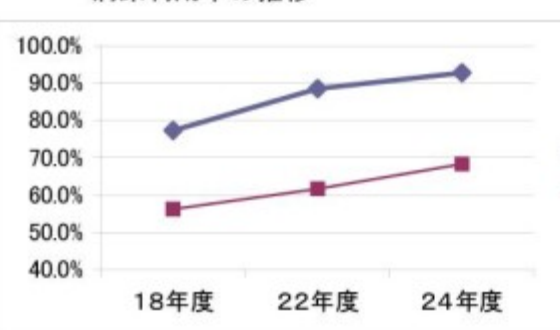
在籍者数(月平均)の推移



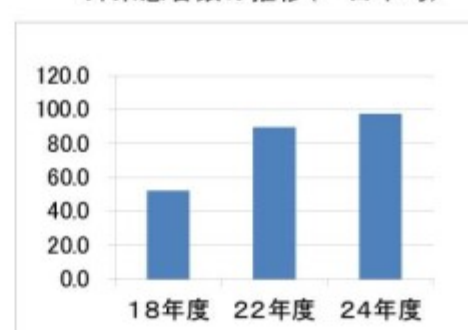
入所別超・準重症者比率の推移



病床利用率の推移



外来患者数の推移(一日平均)





みんなで記念写真 (Bコース) <アリオ北砂にて>

十一月六日(水)に六名の利用者様とアリオ北砂へバスハイクに行ってきました。今回は呼吸器装着者の多いグループの外出となりましたが、それぞれの興味のある物に触れることができ、大型店ならではの賑やかな雰囲気を感じてくることのできました。出発前から計画していた

アイスクリーム店に立ち寄り、念願だった味を堪能されたり、実際に洋服の色合いやサイズを体に合わせて買い物をされる親子の姿が見られたりと、一人ひとりが充実した時間を過ごすことができました。



みんなで記念撮影 (Aコース) <イクスピアにて>

クリスマスイルミネーションやサンタの家などがあがり、楽しい時間を過ごすことができました。



みんなの前で発表！緊張しました！！

十一月二日(土)本校墨東祭に参加してきました。今年の演目は「かもめブロードウェイ」。ミュージカルに挑戦しました。

した。成人グループは「コーラスライン」、中高女子生徒は「リトルマーメイド」、中高男子生徒は「ライオンキング」、そして小学部の子供達の「サウンド・オブ・ミュージック」。グループごとに歌やダンスを発表しました。当日はセンター員の方もたくさん応援に来ていただきました。発表以外にも喫茶コーナーでお茶をしたり、ゲームで遊んだり、楽しい時間を過ごすことができました。

恒例行事

オータムフェスティバル

十月二日(水)に行われたオータムフェスティバルについてご紹介致します。



ふるえんぶてい ぶちっ。(KOTO街かどアーティスト)のクラウン (KOTAくんとおとちゃん)と記念撮影<通所にて>

また各病棟や通所前には利用者の方が製作した作品が、四階にはご家族や職員の作品が展示され、文化祭のような華やかな雰囲気に包まれた一日でした。



ミュージックボックス (YUKと小西さん)と記念撮影<三階西にて>

ベース、チェロや音、アノの歌声にまじりました

ボランティア紹介



おもちゃ図書館

壊れたおもちゃを修理してくれる「おもちゃドクター」として、毎週おもちゃ図書館で活動されている核田純侃さん。センターでボランティアを始め今年で五年目を迎え、感謝の意を表しました。

(核田さんより) 毎週火曜日におもちゃ図書館にお伺いして、壊れたおもちゃを修理して再び動き出すのを見ると楽しくなり、この瞬間が何にもかえられない幸福な時間となります。このような機会を与えて頂いていることを感謝しております。

保護者会

十一月十六日(土)に入所者保護者懇談会、十八日(月)に通所者保護者懇談会が両日共にサードビル向上委員会の第三者委員の高原氏・須田氏にも立ち会っていただき行われました。

本誌【別ページA四刷り参照】の上で、前回質問のあった職員間の引継ぎ、プール実施やテレビの回数、他院受診の際の付き添い、テレビの持ち込み等について、センターとして回答させていただきました。

短期入所事業の実施により、地域で生活されている障害者の方の生活支援をするというセンターの役割をご理解いただけたかと思えます。一方、センターとしても言葉で表現されない重症心身の方に適切な対応をしていくためには、ご本人の状態を細かく観察すると共にご家族や成年後見人の方と密

にコミュニケーションを取っていく必要性を痛感しました。通所者保護者懇談会は、十四名の参加でした。通所サービスに満足されているという意見と共に、ご家族の切実な要望と在宅移行という国の方針と現実との乖離を感じました。センターとしては、この切実な声を東京都等にも伝えていきたいと考えています。

十八日、韓国の療育施設支援員の方々と秋津療育園の職員、総勢九名が見学に見えました。非常に感激して帰られました。後日、秋津副園長より「丁寧な対応をしていただき、全員大変感動して帰国しました。本当に最も弱い命を守る現場を見学させていただきました。大変な学びとなりました。東部療育センターは療育に携わる私達にとって誇りです。」との手紙を頂きました。センターも一番近い国韓国と交流研修を深めていきたいですね。

全国重症心身障害日中活動支援協議会 (宮城) 東日本重症心身障害児施設協議会・総会 (新潟)

東部あれこれ

【十月】

【十一月】

【十二月】

十月十日・十一日、仙台プラーサで全国重症心身障害日中活動支援協議会が開催されました。内容として、障害者総合支援法や障害者虐待防止法の施行についての行政説明や、新制度における収入の不安定さについてでした。また、成年後見制度の実態調査の報告では、制度の活用は低く、手続きの面倒さ、必要性を感じていない等が挙げられていました。

一日目は、北海道における障害者の高齢化・重症化、在宅でのセルフケア・ネットの構築などの提言や、埼玉県で入所させることが最終目的ではないというケアプランを立てていく目的・有期限入所を実施し、日中一時支援や短期入所などを組み合わせた在宅移行を試みる紹介などがありました。二日目は、協議会の広報誌発行について、西日本とのバリエーションを考慮し、理事会・各施設の意見を聞き入れて決定することなどが話し合われ、その後、長岡療育園の施設見学も行われました。

今年の秋になっても台風や竜巻など異常気象が続き、十六日の朝は最大級の台風が首都圏に接近し交通機関がマヒしました。にもかかわらず多くの職員は前日から対策を立て、朝からの業務は通常に行うことができました。(通所は安全を考慮し休止しました。)



正面玄関にて撮影 (下段左より) 森田支援助料主査、藤野療育部長、山田看護科長 (上段) 韓国の療育施設支援員、秋津療育園の職員のみさん

編集後記

新年明けましておめでとうございます。進められたり、車場の表示が変更されたら、利用者様からのご意見を伺いたいです。是非、ご意見をください。



これまでのわが葉をここに集めたい方はこちらからどうぞ